

# 2019年3月期 第1四半期 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社

2018年8月9日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2019年3月期 第1四半期 決算 概要

FUJIFILM

## 2019年3月期第1四半期のポイント

**売上・利益とも期首計画に対し順調に進捗  
前年同期比では、売上は横ばい、営業利益は増益**

事業別  
業績

✓ 売上  
低採算のローエンドプリンタービジネスを縮小したことなどにより、ドキュメントが減収となるも、メディカルシステム、電子材料が引き続き伸長

✓ 営業利益  
メディカルシステム、電子材料、ドキュメントが大幅増益

特記  
事項

- ✓ ドキュメントの構造改革は順調に進捗
- ✓ Irvine Scientific Sales Company・アイエスジャパンを連結子会社化
- ✓ 1,000億円の自己株式取得を決定

## 2019年3月期 第1四半期 業績 (2018年4月～6月)

(単位：億円)

	修正後 2018年3月期 1Q ※	2019年3月期 1Q	対修正後 2018年3月期 1Q	為替影響	為替影響除く
売上高	5,715 100.0%	5,649 100.0%	-66 -1.2%	1	-67 -1.2%
営業利益	341 6.0%	369 6.5%	28 +8.2%	20	8 +2.4%
税金等調整前 四半期純利益	576 10.1%	458 8.1%	-118 -20.5%	16	-134 -23.3%
当社株主帰属 四半期純利益	438 7.7%	283 5.0%	-155 -35.3%	11	-166 -37.8%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	100.06円	65.83円	-34.23円		
為替 : 米ドル	111円	109円	2円高		
: ユーロ	122円	130円	8円安		

<その他増減要因 (対前年度)> 営業利益における原材料価格影響：-7億円

※米国会計基準の変更に伴い、期間年金費用及び期間退職後給付費用の表示区分の変更を遡及適用しています。

3

## セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位：億円)

売上高	1Q		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2018年 3月期	2019年 3月期			
イメージング	850	879	29 (+3.5%)	6	23 (+2.8%)
ヘルスケア	913	1,018	105 (+11.5%)	0	105 (+11.4%)
ヘルスケア&マテリアルズ	2,300	2,359	59 (+2.6%)	0	59 (+2.6%)
ドキュメント	2,565	2,411	-154 (-6.0%)	-5	-149 (-5.8%)
合計	5,715	5,649	-66 (-1.2%)	1	-67 (-1.2%)

\*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	1Q		対前年度	為替影響	為替影響除く
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期			
イメージング	125	122	-3 (-2.2%)	8	-11 (-8.8%)
ヘルスケア	-11	8	19 -	0	19 -
ヘルスケア&マテリアルズ	185	181	-4 (-2.2%)	1	-5 (-2.7%)
ドキュメント	104	149	45 (+43.4%)	11	34 (+33.2%)
全社/連結調整	-73	-83	-10 -	0	-10 -
合計	341	369	28 (+8.2%)	20	8 (+2.4%)

4

## セグメント別 概況

## ■ イメージング ソリューション

売上高		対前年度		営業利益		対前年度	
879	29	(+3.5%)		122	-3	(-2.2%)	

(単位: 億円)

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が好調に推移。「WALL DECOR」「フォトブック」などの付加価値プリントビジネスも伸長し、売上に貢献。
- ・ チェキの1Q販売台数は175万台。年間販売台数目標は、900万台から1,000万台に上方修正。
- ・ 電子映像では、3月発売の「FUJIFILM X-H1」に加え、6月に「FUJIFILM X-T100」を発売し、Xシリーズのラインアップを拡充。各種交換レンズの販売が堅調に推移。
- ・ 光学デバイスでは、各種産業用レンズの販売が堅調に推移。4K対応放送用レンズは高い描写力が評価されており、8機種 of 充実したラインアップでシェアの拡大を図る。

売上は、各事業で販売が好調に推移し増加  
営業利益は、研究開発の先行投資などにより前年並み

5

## セグメント別 概況

■ ヘルスケア&マテリアルズ  
ソリューション

売上高		対前年度		営業利益		対前年度	
2,359	59	(+2.6%)		181	-4	(-2.2%)	

(単位: 億円)

- ・ ヘルスケアで、メディカルシステムは、体外診断やX線画像診断、内視鏡などの分野で販売が好調に推移。医薬品は、抗インフルエンザウイルス薬「アビガン錠」を国家備蓄として供給。診断薬・治療薬の新薬開発を加速させるため、2018年10月で富士フイルム富山化学を設立することを決定。バイオCDMOは、設備増強がバイオ医薬品の製造・開発受託に寄与。
- ・ 高機能材料で、ディスプレイ材料は、WVフィルムが需要減の影響を受け販売は減少したが、タッチパネル分野の製品販売が好調に推移。電子材料はフォトレジストやフォトリソ周辺材料の先端製品を中心に販売が好調に推移し、売上が増加。
- ・ 記録メディアは、大容量データストレージ用磁気テープの在庫調整などの影響で売上が減少。グラフィックシステムは、製版・刷版材料の総需減により売上は減少。インクジェット事業は産業用インクジェットヘッドの販売がセラミックの分野を中心に好調に推移。

メディカルシステム事業・電子材料事業などで  
販売好調により増収  
営業利益は、原材料価格影響などにより前年並み

6

## セグメント別 概況

## ■ ドキュメント ソリューション

(単位：億円)				
売上高	対前年度		営業利益	対前年度
2,411	-154	(-6.0%)	149	45 (+43.4%)

- ・ オフィスプロダクト分野では、中国市場向けに開発した小型複合機や欧米向けの新商品の販売が堅調に推移し、全体の販売台数が対前年で増加。  
オフィスプリンター分野では、低採算のプリンタービジネスの縮小により、販売台数が減少。
- ・ プロダクションサービスは、低中速機を中心に販売台数が減少したが、2017年11月に発売した高速・高画質のカラー・オンデマンド・パブリッシング機の販売を日本、アジアに加えて欧米向けでも開始し、販売が好調に推移。
- ・ ソリューション&サービスは、業種・業務別ソリューションの販売や既存のBPO契約に対する売上が堅調に推移したが、仕入れ商品に対する売上の計上方法を変更した影響により、全体の売上は対前年で減少。

中国での販売や欧米向け輸出は堅調に推移したが  
低採算のローエンドプリンタービジネスの縮小等により減収  
構造改革の効果や収益性の改善により増益

7

## 連結貸借対照表

(単位：億円)

	17年 3月期末	18年 3月期末	19年3月期 6月末	対18年 3月期末		17年 3月期末	18年 3月期末	19年3月期 6月末	対18年 3月期末
現金 及び現金同等物	8,760	7,682	7,239	-443	長短社債 及び借入金	5,588	4,542	4,528	-14
受取債権	6,358	6,191	5,618	-573	支払債務	2,579	2,485	2,383	-102
棚卸資産	3,392	3,613	3,939	326	その他流動 固定負債	4,484	4,915	4,796	-119
その他流動資産	1,838	1,122	1,369	247	負債計	12,651	11,942	11,707	-235
流動資産計	20,348	18,608	18,165	-443	株主資本計	20,436	20,791	21,179	388
有形固定資産	5,206	5,375	5,322	-53	非支配持分	2,245	2,196	2,194	-2
営業権	4,998	5,916	6,769	853	純資産計	22,681	22,987	23,373	386
投資有価証券 その他資産	4,780	5,030	4,824	-206	負債・純資産 合計	35,332	34,929	35,080	151
固定資産計	14,984	16,321	16,915	594					
資産合計	35,332	34,929	35,080	151					

(単位：円)

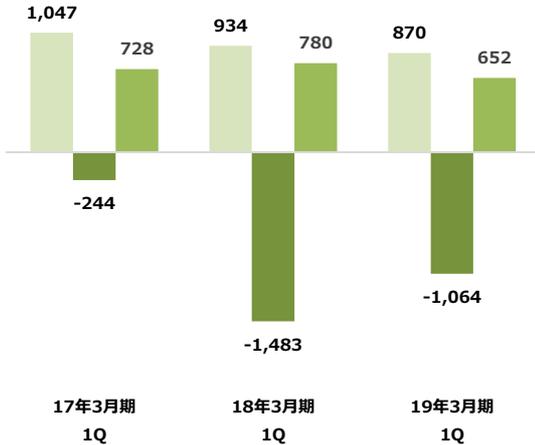
期末日 為替レート	17年 3月期末	18年 3月期末	19年3月期 6月末	対18年 3月期末
米ドル	112	106	111	5円安
ユーロ	120	131	128	3円高

8

# キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー（事業買収等除く）

（単位：億円）



（単位：億円）

	17年3月期 1Q	18年3月期 1Q	19年3月期 1Q
四半期純利益	149	476	313
減価償却費	305	307	313
受取債権の増(-)減(+)	767	745	585
棚卸資産の増(-)減(+)	-198	-306	-293
営業債務の増(+ )減(-)	-17	-212	-75
その他	41	-76	27
営業活動によるC F	1,047	934	870
設備投資	-203	-134	-148
ソフトウェアの購入	-32	-33	-38
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	78	-72	-2
事業買収	-3	-1,257	-844
その他	-84	13	-32
投資活動によるC F	-244	-1,483	-1,064
フリー・キャッシュ・フロー	803	-549	-194
事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー※	728	780	652

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収および有価証券・投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

## 2019年3月期 第1四半期 決算説明会

# 富士ゼロックスにおける構造改革

## 富士ゼロックスにおける構造改革

2019年3月期第1四半期の構造改革は計画通りに進捗  
新たな成長領域において事業基盤を確立

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	2020年3月期 計画
構造改革費用等一時費用	700億円(通期)	250億円	60億円
効果	-	270億円	550億円

2019年3月期	1Q実績	通期計画
構造改革費用等一時費用	33億円	250億円
効果	10億円	270億円

2019年3月期 第1四半期 決算説明会

## 通期業績予想

## 2019年3月期 連結業績予想 (2018年8月9日時点)

(単位：億円)

	修正後 2018年3月期	2019年3月期	対前年度
売上高	24,334 100%	25,100 100%	766 +3.1%
営業利益	1,233 5.1%	2,000 8.0%	767 +62.2%
税金等調整前 当期純利益	1,978 8.1%	2,050 8.2%	72 +3.6%
当社株主帰属 当期純利益	1,407 5.8%	1,300 5.2%	-107 -7.6%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	322.62円	302.16円	-20.46円
ROE	6.8%	6.2%	-0.6%
為替：米ドル	111円	110円	1円高
：ユーロ	130円	130円	-
銀価格 (/kg)	61,000円	62,000円	+1,000円

	2018年 3月期	2019年 3月期
一時費用除く 営業利益	1,933	2,250
構造改革費用等 一時費用	-700	-250
営業利益	1,233	2,000

\* 2019年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円、ユーロ：8億円

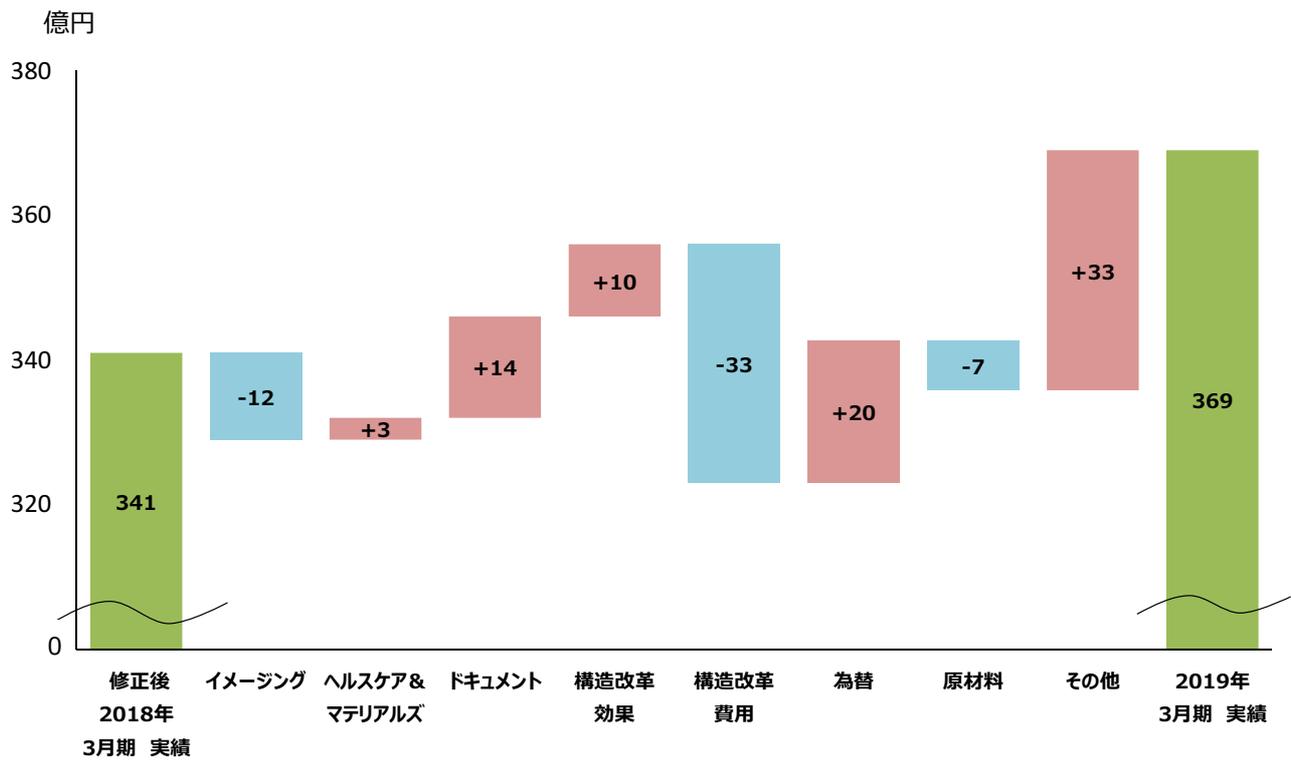
13

## 2019年3月期 第1四半期 決算説明会

## 参考資料

14

## 営業利益増減分析(対前年1Q実績)



## 1Q 業績

### イメージング ソリューション

(単位：億円)

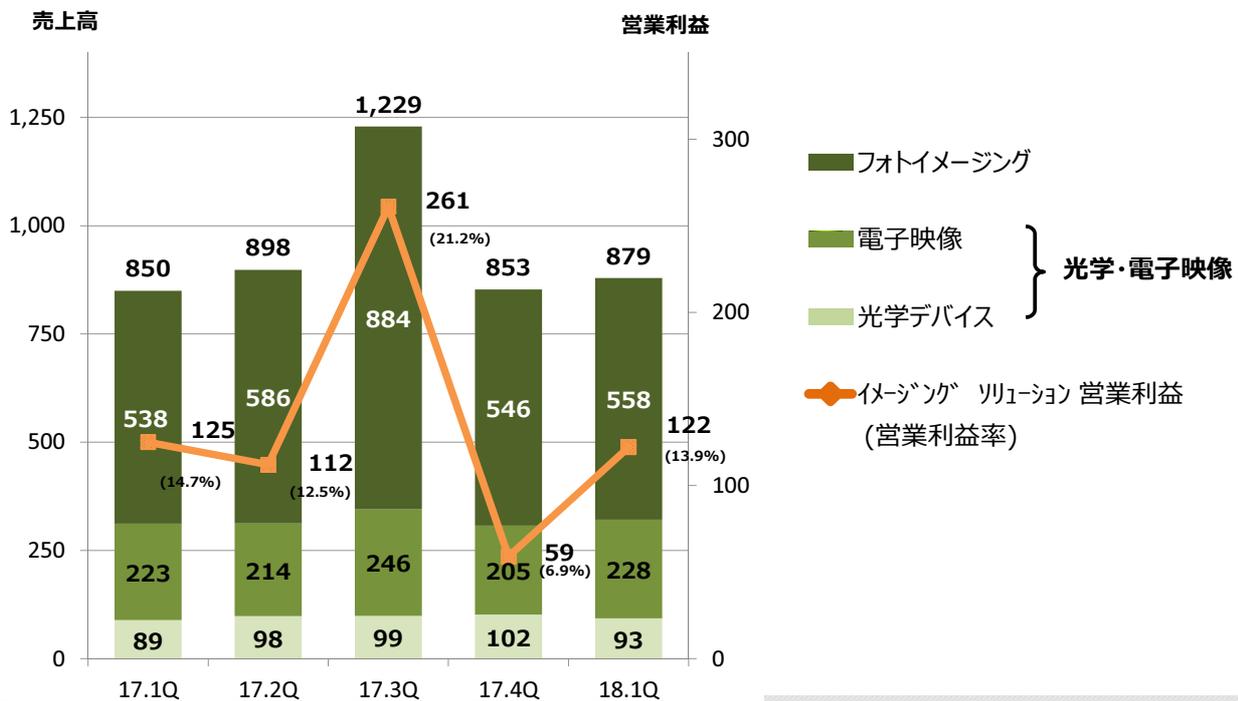
売上高	1Q			
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	
			為替影響除く	
フォトイメージング	538	558	20 (+3.8%)	18 (+3.4%)
電子映像	223	228	5 (+2.2%)	2 (+0.9%)
光学デバイス	89	93	4 (+5.0%)	3 (+4.4%)
光学・電子映像	312	321	9 (+3.0%)	5 (+1.9%)
合計	850	879	29 (+3.5%)	23 (+2.8%)

\*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	
			為替影響除く	
イメージング	125 [14.7%]	122 [13.9%]	-3 (-2.2%)	-11 (-8.8%)

# セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## イメージングソリューション (単位: 億円)



# 1Q 業績

## ヘルスケア&マテリアルズソリューション

(単位: 億円)

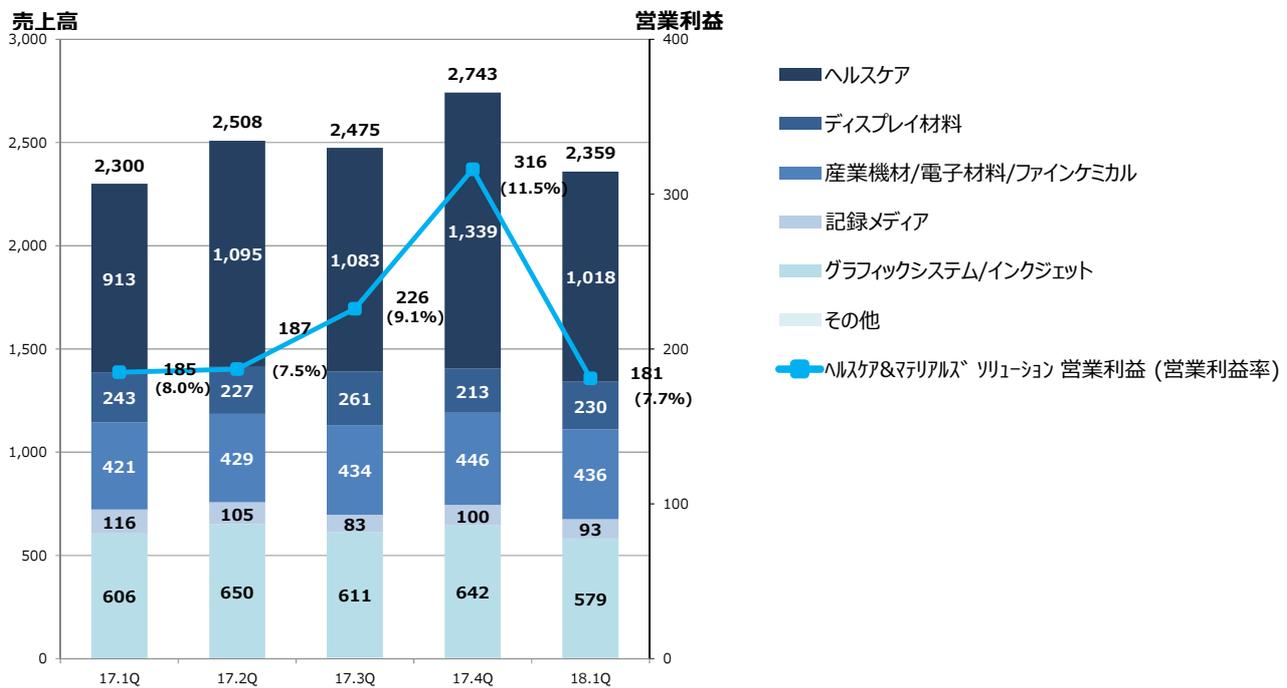
売上高	1Q			
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	913	1,018	105 (+11.5%)	105 (+11.4%)
ディスプレイ材料	243	230	-13 (-5.5%)	-13 (-5.6%)
産業機械材/電子材料 ファインケミカル	421	436	15 (+3.4%)	17 (+4.0%)
高機能材料	664	666	2 (+0.1%)	4 (+0.5%)
記録メディア	116	93	-23 (-19.2%)	-22 (-18.3%)
グラフィックシステム/インクジェット	606	579	-27 (-4.4%)	-30 (-4.8%)
その他	1	3	2	2
合計	2,300	2,359	59 (+2.6%)	59 (+2.6%)

\*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	-11 [-1.2%]	8 [0.8%]	19	19
ヘルスケア&マテリアルズ	185 [8.0%]	181 [7.7%]	-4 (-2.2%)	-5 (-2.7%)

# セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション (単位: 億円)



# 1Q 業績

## ドキュメント ソリューション (単位: 億円)

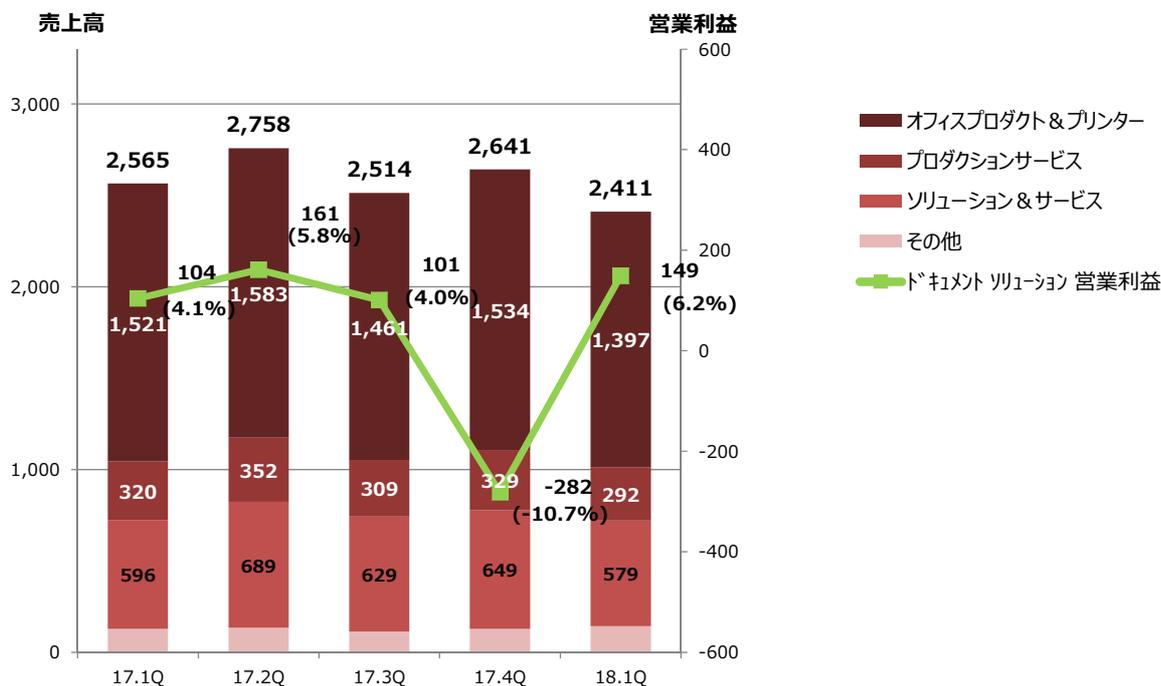
売上高	1Q			
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く
オフィスプリンター	388	301	-87 (-22.5%)	-84 (-21.7%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,521	1,397	-124 (-8.2%)	-121 (-8.0%)
プロダクションサービス	320	292	-28 (-8.9%)	-28 (-9.0%)
ソリューション & サービス	596	579	-17 (-2.9%)	-15 (-2.5%)
その他	128	143	15	15
合計	2,565	2,411	-154 (-6.0%)	-149 (-5.8%)

\*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く
ドキュメント	104 [4.1%]	149 [6.2%]	45 (+43.4%)	34 (+33.2%)

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

## ■ ドキュメントソリューション (単位: 億円)



21

## 国内・海外別連結売上高

(単位: 億円)

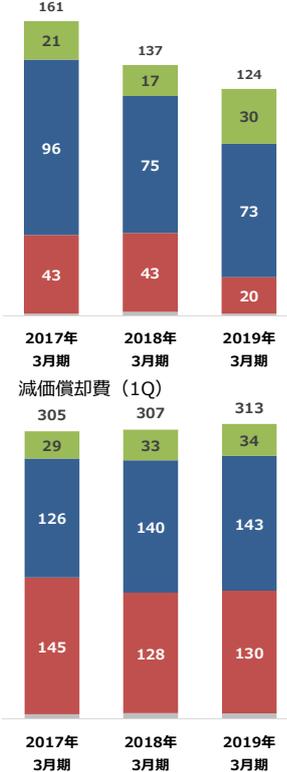
	2018年3月期 1Q		2019年3月期 1Q		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	40.5%	2,315	40.7%	2,299	-16	(-0.7%)
米州	19.8%	1,131	19.0%	1,076	-55	(-4.9%)
欧州	12.0%	684	12.7%	718	34	(+4.9%)
内、中国	12.4%	710	12.9%	731	21	(+2.8%)
アジア他	27.7%	1,585	27.6%	1,556	-29	(-1.9%)
海外	59.5%	3,400	59.3%	3,350	-50	(-1.5%)
合計	100.0%	5,715	100.0%	5,649	-66	(-1.2%)

22

## 設備投資、減価償却費

設備投資 (1Q)

(単位：億円)



年度	1Q			通期		
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期(予想)
イメーシング	21	17	30	103	94	
ヘルスケア&マテリアルズ	96	75	73	401	427	
ドキュメント	43	43	20	200	138	
コーポレート	1	2	1	14	16	
<b>設備投資 ※</b>	<b>161</b>	<b>137</b>	<b>124</b>	<b>718</b>	<b>675</b>	<b>800</b>
イメーシング	29	33	34	111	133	
ヘルスケア&マテリアルズ	126	140	143	491	575	
ドキュメント	145	128	130	553	547	
コーポレート	5	6	6	21	21	
<b>減価償却費</b>	<b>305</b>	<b>307</b>	<b>313</b>	<b>1,176</b>	<b>1,276</b>	<b>1,190</b>
有形固定資産の減価償却費 ※	142	162	167	589	665	

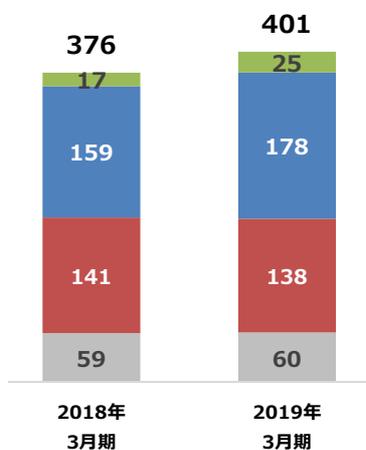
※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル資産を除く。

- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

## 研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費 (1Q)

(単位：億円)



年度	1Q		通期	
	2018年3月期	2019年3月期	2018年3月期	2019年3月期(予想)
イメーシング	17	25	90	
ヘルスケア&マテリアルズ	159	178	700	
ドキュメント	141	138	635	
コーポレート	59	60	254	
<b>研究開発費</b>	<b>376</b>	<b>401</b>	<b>1,679</b>	<b>1,610</b>
<売上高比>	6.6%	7.1%	6.9%	6.4%
販売費及び一般管理費	1,591	1,587	6,778	
<売上高比>	27.8%	28.1%	27.9%	

- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

## 為替、原材料価格、人員

## 為替

(単位：円)

	2018年3月期					2019年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
米ドル	111	111	113	108	111	109	110
ユーロ	122	130	133	133	130	130	130

## 原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2018年3月期					2019年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
銀	63	60	61	58	61	58	62

## 人員

(単位：人)

	2017.6末	2017.9末	2017.12末	2018.3末	2018.6末
連結	80,672	80,315	80,067	77,739	77,060

25

## 会計基準変更に伴う2018年3月期営業利益の修正

(単位：億円)

営業利益	修正前 2018年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
イメージング	126	113	261	60	560
ヘルスケア	-8	27	55	133	207
ヘルスケア&マテリアルズ	189	191	232	316	928
ドキュメント	117	174	114	-265	140
全社/連結調整	-74	-77	-80	-90	-321
合計	358	401	527	21	1,307

(単位：億円)

営業利益	修正後 2018年3月期									
	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
イメージング	125	-1	112	-1	261	0	59	-1	557	-3
ヘルスケア	-11	-3	24	-3	52	-3	133	0	198	-9
ヘルスケア&マテリアルズ	185	-4	187	-4	226	-6	316	0	914	-14
ドキュメント	104	-13	161	-13	101	-13	-282	-17	84	-56
全社/連結調整	-73	1	-78	-1	-80	0	-91	-1	-322	-1
合計	341	-17	382	-19	508	-19	2	-19	1,233	-74

26

## 2019年3月期 連結業績予想 (2018年8月9日時点)

(単位：億円)

	修正後 2018年3月期	2019年3月期 上期	2019年3月期 下期	2019年3月期	対前年度
売上高	24,334 100%	11,900 100%	13,200 100%	25,100 100%	766 +3.1%
営業利益	1,233 5.1%	750 6.3%	1,250 9.5%	2,000 8.0%	767 +62.2%
税金等調整前 当期純利益	1,978 8.1%	790 6.6%	1,260 9.5%	2,050 8.2%	72 +3.6%
当社株主帰属 当期純利益	1,407 5.8%	460 3.9%	840 6.4%	1,300 5.2%	-107 -7.6%

27

## 2019年3月期 セグメント別業績予想 (2018年8月9日時点)

(単位：億円)

売上高	修正後 2018年3月期	2019年3月期	対前年度
イメージング	3,830	4,000	170 (+4.4%)
ヘルスケア	4,430	4,750	320 (+7.2%)
ヘルスケア&マテリアルズ	10,026	10,600	574 (+5.7%)
ドキュメント	10,478	10,500	22 (+0.2%)
合計	24,334	25,100	766 (+3.1%)

\*セグメント間取引消去後

営業利益	修正後 2018年3月期	2019年3月期	対前年度
イメージング	557	600	43 (+7.7%)
ヘルスケア	198	210	12 (+6.1%)
ヘルスケア&マテリアルズ	914	910	-4 (-0.4%)
ドキュメント	84	820	736 (9.8倍)
全社/連結調整	-322	-330	-8
合計	1,233	2,000	767 (+62.2%)

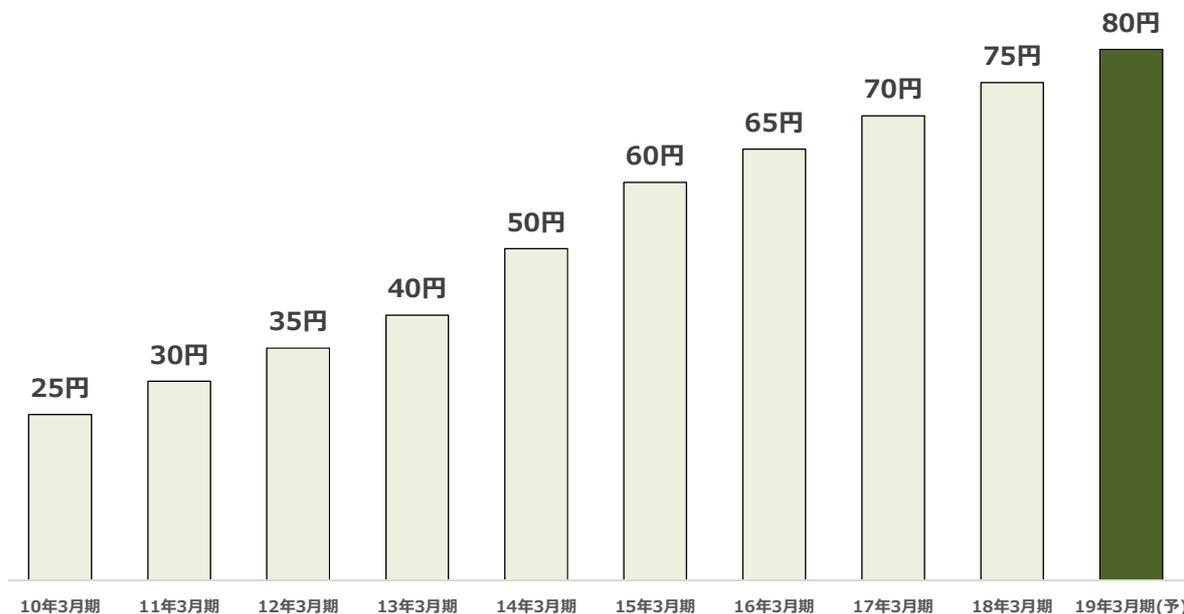
	2018年 3月期	2019年 3月期
一時費用 除く 営業利益	784	1,070
構造改革 費用等 一時費用	-700	-250
営業利益	84	820

28

## 株主還元

## ■ 配当金

2019年3月期の配当金は、9期連続増配となる対前年5円増配の80円/株を予定



## パイプライン (2018年8月9日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本	承認済み
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬		米国	Ph III
T-3811	キロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認申請中
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	Ph III
ITK-1	去勢抵抗性前立腺がん治療薬	注射	日本	Ph III
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph I
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリポソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II

※持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクス (FKB) のFKB327 (アグリムアブバイオシミラー) は、欧州申請中。FKBとアストラゼネカ社のJ VのFKB238 (ペバシズマバイオシミラー) は、米国、欧州、その他でPh III実施中。

## 参考情報

### 富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

### 富士フイルムホールディングス 統合報告書2017

[http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir\\_library/integrated\\_reports/index.html](http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_library/integrated_reports/index.html)

### IRイベント資料

[http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir\\_events/business\\_presentations/index.html](http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html)

#### ・事業説明会資料

- 2016年 12月 医薬品・再生医療事業説明会
- 2017年 3月 エレクトロニクスマテリアルズ (EM) 事業説明会
- 2018年 3月 イメージングソリューション事業説明会

### 富士フイルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

# FUJIFILM

## Value from Innovation

富士フイルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拓けるチカラになるために。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>